

掲載元：南海日日新聞
掲載日：8月31日

下平川小 冲高生が学習支援ボランティア



高校生に教えてもらいながら勉強する
児童は30日、知名町の下平川小学校

一緒に楽しく勉強

【沖永良部総局】県立沖永良部高校（徳富健作校長）は26、30日、知名町立下平川小学校（西啓亨校長）で生徒有志による児童への学習支援ボランティアを行った。1日2時間ずつ、児童それぞれの夏休みの課題や

1学期の復習などの自習をサポートした。

小学生と高校生の交流機会を増やすとともに、児童に島唯一の高校への関心を深めてもらおうと、下平川小が沖永良部高に依頼して初めて実施。高校生は1、2年生延べ19人、児童は全学年延べ62人が参加した。

児童は自身の勉強したい課題や問題集などを持って参加。勉強を進めながら、そばにいる高校生に難しい問題について質問したり、作文の内容を一緒に考えてもらったりしていた。

4日間参加した豊島和保里さん（8）は「小学2年」は「学校の先生は怒ることもあるけど、高校生はずっと優しく教えてくれたので楽しく勉強できた」と笑顔。2日間学習支援に参加した丸山陽暉さん（16）は「高校1年」は「勉強を教えるの

は難しかったが、いい経験だった。新しい考えや視点を知ることができ、面白かった」と話した。